



広島中央トピックス

広島中央地域 地区別総代集会



JAは6月中旬、各地域で総代集会を開きました。広島中央地域では6月11日、「東広島芸術文化ホールくらら」小ホールで行ない、総代132人とJA役員が意見を交わしました。

JAは、第2回通常総代会の9議案を説明。組合員からは「産直市で農家が直接、米を販売できたら良い」「米の報道でJAや農家がたたかれている。米の集荷に対してJAも



▲質疑をする総代

広報すべき」「米の生産・集荷にかかる費用や手数料を調査して示してほしい」などの要望がありました。

販売楽しみに定植 大和小学校



三原市立大和小学校3年生19人は、農産物の生産、販売に取り組んでいます。児童が農業に携わり、PRすることで大和町を元気にする狙いがあります。サツマイモを栽培し、冬にはJA産直市で販売する計画です。

児童は5月30日、同校の畑でサツマイモを定植しました。JA大和アグリセンターの谷杉貴志係長に教わりながら、「鳴門金時」の苗120本を水平植えと垂直植えで植えました。



▲教わりながらサツマイモの苗を植える児童

体験した児童は「販売するのが楽しみ。おいしいサツマイモに育てたい」と喜びました。

農業・農村の明るい未来に 青壮年連盟 通常総会



JA青壮年連盟広島中央地区本部は6月3日、「東広島芸術文化ホールくらら」で令和7年度通常総会を開き、令和6年度の活動報告や収支決算報告、令和7年度の活動計画など3議案を承認しました。

地域農業の振興や農業・農村の明るい未来につながるよう取り組みを強化し、県内青壮年連盟と一体となった活動を展開することを申し合わせました。

総会後は、JA全農ひろしま西日本肥料研究所の坂田健所長を講



▲総会後の講演をする坂田所長

師に、農産物の品質や収量の向上に役立つとされる新たな資材「バイオステイミュラント」について学びました。

親睦深める 女性部グラウンドゴルフ大会



JA女性部広島中央地区本部は6月6日、東広島運動公園でグラウンドゴルフ大会を開きました。体を動かすことで健康促進を図り、親睦を深めることが目的です。

部員136人が参加し、個人戦で2ラウンド16ホールを回り、和気あいあいとプレーを楽しみ交流を深めました。

白熱した試合を繰り広げた結果、久芳支部の山下千鶴子さんが優勝し、20人がホールインワン賞を受賞しました。



▲グラウンドゴルフを楽しむ部員

なるほどえ~のう! 営農情報

水稲

8月からの管理について

8月の管理で重要なのは、病害虫防除と水管理です。稲が穂や籾をつける時期で、本田での仕上げの段階に入ってきます。

また、近年では、幼穂形成期から登熟期頃の異常高温などによって、稲の品質や収量にも影響が見られるようになりまし。今年も高温の影響で生育が早まっている傾向があります。稲をよく観察し、適切な栽培管理で収量の確保と品質の向上を目指しましょう。

◆水管理

品種ごとに違いはありますが、多くの品種が8月中に出穂期を迎えます。収量の確保、品質の向上のため、出穂期の前後には水を溜めてください。近年、登熟期に高温となることから多く、水分不足によって未熟米の発生や、

籾の充実不足が多発する傾向にあります。高温が予想される場合は、特に注意が必要です。出穂期以降の早期落水は登熟不良となり、収量や品質、食味の低下を招きますので、収穫作業に支障がない時期まで落水は遅らせてください。
【注意】前半の穂ばらみ期から出穂期にかけては、穂が最も水を必要とするため、水不足に注意してください。

◆出穂の程度別の呼び方

出穂の状態を観察し、適期の水管理や病害虫防除の作業時期の参考にしてください。

- ① 出穂始(しゅつすいはじめ)
圃場全体の10~20%程度の茎が出穂した時期
- ② 出穂期(しゅつすいき)
圃場全体の40~50%の茎が出穂した時期
- ③ 穂ぞろい期(ほぞろいき)
圃場全体の80%以上が出穂した時期

◆病害虫

特に出穂前後の防除は基本で、品質や等級、収量に大きく影響します。出穂期前後2回の防除は、最低限必要な基幹防除なので必ず行ないましょう。天候の影響により基幹防除だけでは病害虫の発生が抑

えられない場合もあります。その際は、補完的に防除を行ない、品質の維持に努めましょう。使用薬剤などについては、「水稲栽培ごよみ」を参考にしてください。

病害虫防除	基幹防除	出穂前防除		出穂後防除		補完防除	
		省カ		省カ			
		ワイドパンチ豆つぶ 250g/10a 出穂10~20日前(収穫35日前迄)		スタークル豆つぶ 250g/10a 出穂7~10日後(収穫7日前迄)		いもち病 ブラシン粉剤DL 3~4kg/10a (収穫7日前迄) ブラシンプロアブル 1000倍/10a (収穫7日前迄)	
		いもち病 穂枯れ(ごま葉枯病) ウンカ類 墨黒穂病 紋 枯 病 カメムシ類	いもち病 穂枯れ(ごま葉枯病) ウンカ類 ツマグロヨコバイ	カメムシ類 カメムシ類 ツマグロヨコバイ	モンガリット粒剤 3~4kg/10a 散布適期出穂20日前 (収穫30日前迄)		
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		ガッツスター粒剤 3kg/10a 出穂5~15日前(収穫45日前迄)		スタークル粒剤 3kg/10a (収穫7日前迄)		紋枯病・稲こうじ病 モンガリット粒剤 3~4kg/10a 散布適期出穂20日前 (収穫30日前迄)	
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		ノンプラスバリダ粉剤DL 3~4kg/10a (収穫14日前迄)		ビームスター粉剤5DL 3~4kg/10a (収穫7日前迄)		ウンカ類・コブノメイガ・イナコ類 トレボン粉剤DL 3~4kg/10a (収穫7日前迄) トレボンEW 1000倍/10a (収穫14日前迄)	
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		ノンプラスバリダフロアブル 1000倍液/10a(60~150g) (収穫14日前迄)		ビームエイトスタークルゾル 1000倍液/10a(60~150g) (収穫7日前迄)		ウンカ類・カメムシ類 スタークル粉剤DL 3~4kg/10a (収穫7日前迄) スタークル液剤10 1000倍/10a (収穫7日前迄)	
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		トレボンEW 1000倍液/10a(60~150g) (収穫14日前迄)		又は		ウンカ類・カメムシ類 エクシード粉剤DL 3~4kg/10a (収穫7日前迄) エクシードフロアブル 2000倍/10a (収穫7日前迄)	
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		又は		ダブルカットスタークルフロアブル 1000倍液/10a(60~150g) (穂揃い期迄)			
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		ノンプラスバリダントツフロアブル 1000倍液/10a(60~150g) (収穫14日前迄)		いもち病 カメムシ類 ウンカ類 ツマグロヨコバイ			
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		いもち病 紋 枯 病 ウンカ類 カメムシ類					

野菜

夏野菜の管理と夏播き野菜の栽培

夏野菜の管理

●暑さ対策

植え付け畝に敷きわらや敷き草などをして地温を下げます。黒マルチを使用している圃場では特に暑さ対策を行ないましょう。今から作付けする場合は、白マルチやシルバームルチなどの使用をお勧めします。

◆かん水(水やり)

日中のかん水はできるだけ避け、早朝や夕方など気温が下がった時間帯に行ないましょう。また、畝と畝の間の溝に水を入れるのも良いでしょう。サツと溝に水を流すか溜めておくのも良いです。溜める場合は、乾いた圃場に急に水を溜めると野菜が驚くので、水をサツと軽く通し、少し慣らしてから始めましょう。長時間、溝に水が溜まらないように注意してください。この時、少し過湿状態になることがあるので、病気の発生に注意しましょう。

マルチを使用している畝は時々、マルチ内の水分状態を確認しましょう。また、トマトなど雨よけハウスを

使用している畝は特に乾燥に注意してください。

◆病害虫対策

害虫も暑い時間帯には活動が鈍り、早朝や夕方など気温が下がった時間帯に活動します。ヨトウムシ類は土壌中に潜り、涼しくなる時間帯を待っていますので、その前に防除をすると効果が上がります。

また、粒状の農薬を使用する場合、土が乾いていたら散布後に軽く水をかけるようにしましょう。水分が無いと溶けにくく効果が落ちます。

乾燥時期には、コナジラミなどの発生が多くなります。アブラムシ類は、色々な病気を媒介しますので注意しましょう。

◆肥料(追肥など)

栽培期間の長い果菜類は、定期的な追肥を行ないましょう。土が乾いていたらかん水を行ない、肥料が溶けやすくなります。急な夕立などの後、野菜の元気が無いように感じたら液肥(300〜500倍のやや薄目)を野菜全体に散布してください。液肥散布は、気温が下がった涼しい時間帯に行ないましょう。

夏播き野菜

夏の暑い時期に種をまき、秋から冬に収穫可能な野菜を紹介します。日々のかん水などの管理が大切になります。

◆種まきなどの育苗管理

プラグトレイ(128穴・200穴)やビニールポットなど品目により大きさを選んで使用します。土は、育苗専用培土の使用をお勧めします。種まき後は、たっぷりかん水し、濡れ新聞をかけると乾燥を防げます。濡れ新聞が乾いたらかん水し、発芽したら新聞を除きます。

品目によって育苗温度が異なりますので、日よけ資材などの利用や育苗場所を選びましょう。発芽後は、極端なかん水は避け、乾き気味になったら午前中の気温が上がらない時間帯に行ないます。苗は、老化苗にならないうちに定植します。

圃場の準備は、定植の7日前ぐらいに完了します。マルチを使用する場合は、地温を下げる白マルチが良いでしょう。定植時、植え穴に水をやると根の活着が良くなります。圃場でのかん水は、水分補給と地温を下げる効果があります。日中の気温が高い時間帯は避けましょう。

●ハクサイ

排水の良い土壌を好みますが、乾燥に弱い作物です。土壌のpHは6.0〜6.5程度が好適範囲です。堆肥や苦土石灰は定植の20日前に施用し、土壌と十分混和します。元肥は定植7日前までに行ないます。ハクサイはホウ素欠乏が発生し易い作物なので、ホウ砂100g/1a施用します。

追肥は、定植後15〜20日、第2回目の追肥は結球開始頃に中耕、土寄せを兼ねて実施します。また、元肥に緩効性肥料(元肥1発肥料)を使用すると追肥の手間を省力することができます。収穫時期は品種で違いますが、巻きの状態を観察し適期に収穫しましょう。

●ニンジン

土壌の水分状態によって発芽率が著しく異なり、乾燥状態では特に発芽が悪くなるので注意が必要です。この時期は気温が高く、乾燥しますので日よけ資材や芽だしシートなどを上手に利用しましょう。

栽培管理については、お近くのアグリセンターの営農指導員にご相談ください。



**努力怠らず
高品質ブドウの生産を目指す**
【志和町】すざわ果樹園

志和町で高品質なブドウ生産を目指す「すざわ果樹園」は、J Aと連携しながら全国にファンを増やしています。J A全農の通販サイト「J Aタウン」では、昨年9月中旬～10月中旬、11月下旬～12月中旬の間、「ぶどう」カテゴリの全国人気ランキングで、連日1位を獲得しました。猛暑でも品質を落とさない努力を怠らず、今年も8月からの出荷を計画しています。

同園は、代表の須澤勝己さん(55)が2012年に開園。7aに10本を植えてスタートしました。水田だった耕作放棄地を再生して面積を増やし、現在は1.7haで19品種のブドウ約400本を露地栽培しています。社員3人、通年の非正規雇用2人の他、繁忙期にはアルバイトも雇用しています。

トレンドも意識しながら黒系、赤系、白系の新しい品種を取り入れ、どの品種も1房600gを目標に育てます。5年以上工夫して栽培しても基準に届かない品種は、思い切って伐採、抜根して新品種に切り替えています。1房800g以上の最高級クラス「極」は、桐箱に入れて販売。県内で希少な冬ブドウ「紫苑」を栽培して11～12月に出荷するなど、栽培が難しいとされる品種にも挑戦しています。

本格出荷を始めた2018年から直売を除く販売はJ Aに委託しています。



▲すざわ果樹園の須澤代表(前中)とスタッフ

「販売を任せただけで、生産に専念できるようにになった」と須澤さんは話します。県内スーパーやJ A産直市、自社の直売所でも販売しています。県や農研機構などを通じて県内外からの視察を受け入れています。昨年はペルーからの来訪で情報交換しました。須澤さんは「同じ志を持った仲間を増やし、後継者を育成していきたい」と意気込みます。

Information お知らせ

**広島中央地域 アグリセンター
休日営業のお知らせ**

アグリセンターは、右のカレンダーのように8月23日(土)から土・日・祝日の休日営業を実施します。どうぞご利用ください。

8 August							9 September						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1		1	2	3	4	5	6
③	4	5	6	7	8	⑨	7	8	9	10	11	12	13
⑩	⑪	12	13	14	15	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
⑰	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚
㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝				
31													

※○は休業

東広島市
園芸センターより

新規就農者育成総合対策事業のご紹介

新規就農を検討されている方を対象とした国の支援策です。

経営発展支援事業

次世代を担う農業者となることを志向する方に、就農直後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等の取り組みを支援する制度です。

【主な交付対象者の条件】

- ・就農時45歳以下
- ・認定新規就農者
- ・独立自営就農
- ・その他

【補助率・限度額等】

- ・補助限度額 1,000万円
- ・補助率 最大で国1/2、県1/4 (※その他条件あり)

経営開始資金

次世代を担う農業者となることを志向する方に、就農直後の経営確立に資する経営開始資金を交付する制度です。

【主な交付対象者の条件】

- ・就農時45歳以下
- ・認定新規就農者
- ・独立自営就農
- ・その他 (農地取得など)

【補助率・限度額等】

- ・補助率 10/10
- ・支援額 年間150万円
- ・交付期間 最長3年間

※条件によっては申請できない場合があります。※予算の範囲内において、計画の審査等により採択されます。※要件を満たせば必ず採択されるものではありません。※農林水産省のホームページで詳細(主な交付対象者の条件、補助率・限度額、その他)をご確認いただき、園芸センターまでお問い合わせください。

申込・問い合わせ

東広島市園芸センター Tel (082)433-4411

